

第1節 北海道総合通信局

§3-1-1 770MHz以下の周波数の利用状況の概況【北海道】

770MHz以下の周波数を利用する無線局について、電波の利用状況調査結果に基づき、周波数の利用状況を集計・分析した。

(1) 770MHz以下の周波数を利用する無線局数及び免許人数【北海道】

管轄地域の都道府県	北海道
管轄地域内の無線局数（対全国比） ^(注1)	26.5万局（8.2%）
管轄地域内の免許人数（対全国比） ^(注1)	13.0万人（9.0%）
（参考）管轄地域内の人口（対全国比） ^(注2)	550.8万人（4.3%）

（注1）770MHz以下の周波数を利用しているもの。

複数の周波数区分を利用している無線局・免許人は、当該複数分をカウントしているため、実際の無線局数・免許人数より多い。

（注2）平成22年10月1日現在 資料：総務省統計局「第61回 日本統計年鑑 平成24年」

(2) 770MHz以下の周波数の利用状況の概要【北海道】

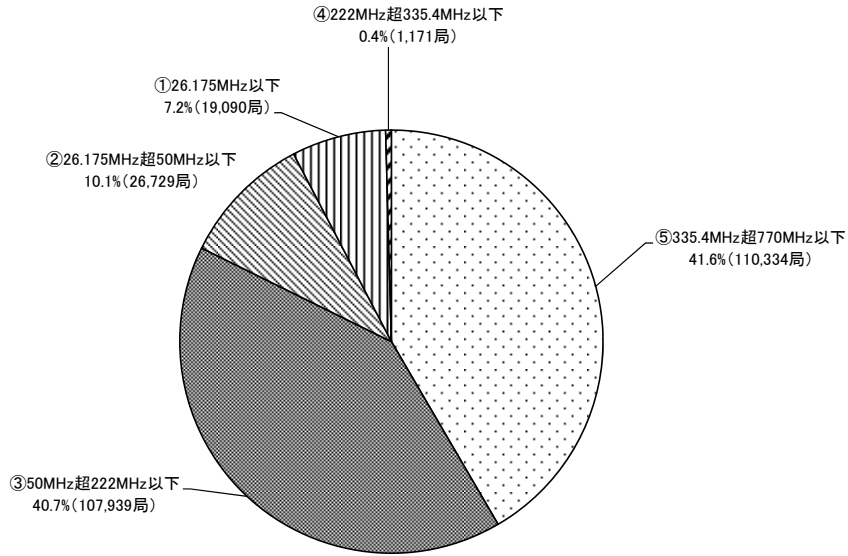
「周波数区分別の無線局数の割合及び局数」及び「周波数区分ごとの無線局数の割合」に係る集計結果は、次の図表のとおりである。

各周波数区分別の無線局分布をみると、③50MHz超222MHz以下（107,939局）及び⑤335.4MHz超770MHz以下（110,334局）の2つの周波数区分に無線局数が集中している。④222MHz超335.4MHz以下（1,171局）の周波数区分の無線局数が極端に少ない理由は、当該周波数区分にアマチュア局が存在しないためである。

平成20年度調査による無線局数と今回の調査の無線局数を比較すると無線局数は減少傾向にあるが、これはアマチュア局の減少が大きいためである。

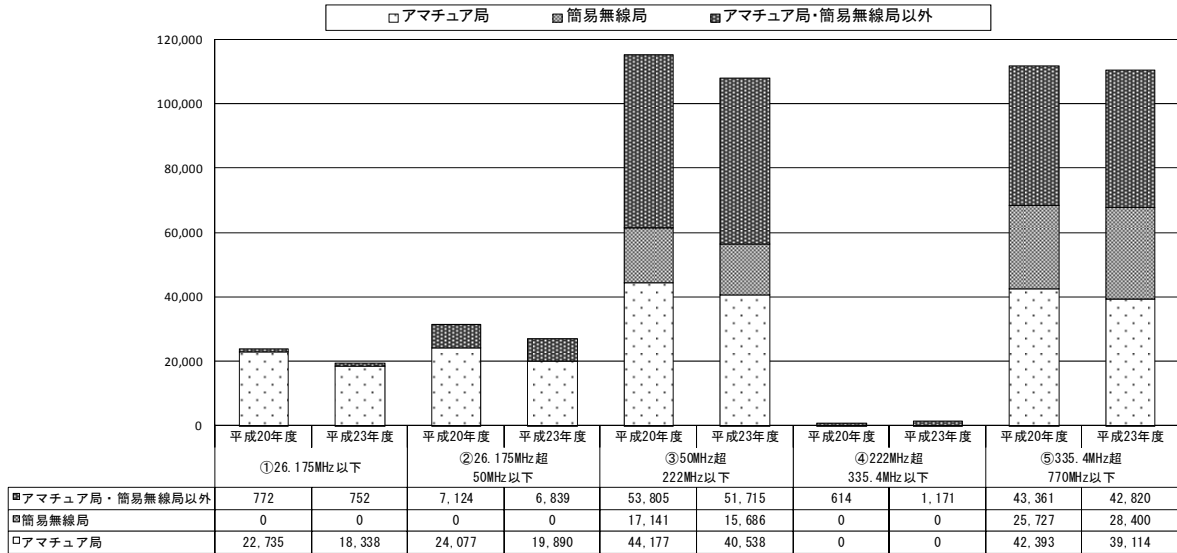
アマチュア局を除いた場合には、北海道管内では1,161局（0.8%減）減少している状況にある。

図表－１－１－１ 周波数区分ごとの無線局数の割合及び局数【北海道】



* 複数の周波数を具備する無線局は、周波数区分毎にカウントしている。

図表－１－１－２ 周波数区分ごとの無線局数の経年比較【北海道】



図表－１－１－３ 周波数区分ごとの無線局数の割合【北海道】

		①26.175MHz以下	②26.175MHz超 50MHz以下	③50MHz超 222MHz以下	④222MHz超 335.4MHz以下	⑤335.4MHz超 770MHz以下
各周波数区分ごとの無線局数の割合	合計	100%	100%	100%	100%	100%
	陸上・防災	-	-	3.5%	95.4%	4.6%
	陸上・自営(主に公共分野)	0.0%	0.0%	28.2%	0.0%	10.9%
	陸上・自営(公共分野以外)	0.0%	0.1%	10.5%	-	19.0%
	陸上・電気通信業務	-	-	0.1%	0.0%	0.0%
	陸上・放送	0.4%	-	0.3%	-	1.9%
	陸上・放送事業	-	0.2%	0.5%	-	0.2%
	海上・船舶通信	2.2%	25.1%	3.5%	-	1.1%
	海上・測位	1.2%	0.1%	-	-	-
	航空・航空通信	0.0%	-	1.1%	3.5%	0.4%
	航空・測位	0.0%	-	0.0%	1.0%	-
	衛星・電気通信業務	-	-	-	-	-
	陸上・その他※	96.1%	74.4%	51.9%	-	61.2%
	海上・その他	-	0.2%	0.4%	-	0.4%
	航空・その他	-	0.0%	-	-	0.0%
	衛星・その他	-	-	-	-	0.0%
その他・その他	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	
各周波数区分ごとの無線局数の割合		7.2%	10.1%	40.7%	0.4%	41.6%

※ 「陸上・その他」のうちアマチュア局が占める割合は次の通り。

①26.175MHz以下: 96.1%、②26.175MHz超50MHz以下: 74.4%、③50MHz超222MHz以下: 37.6%、⑤335.4MHz超770MHz以下: 35.5%

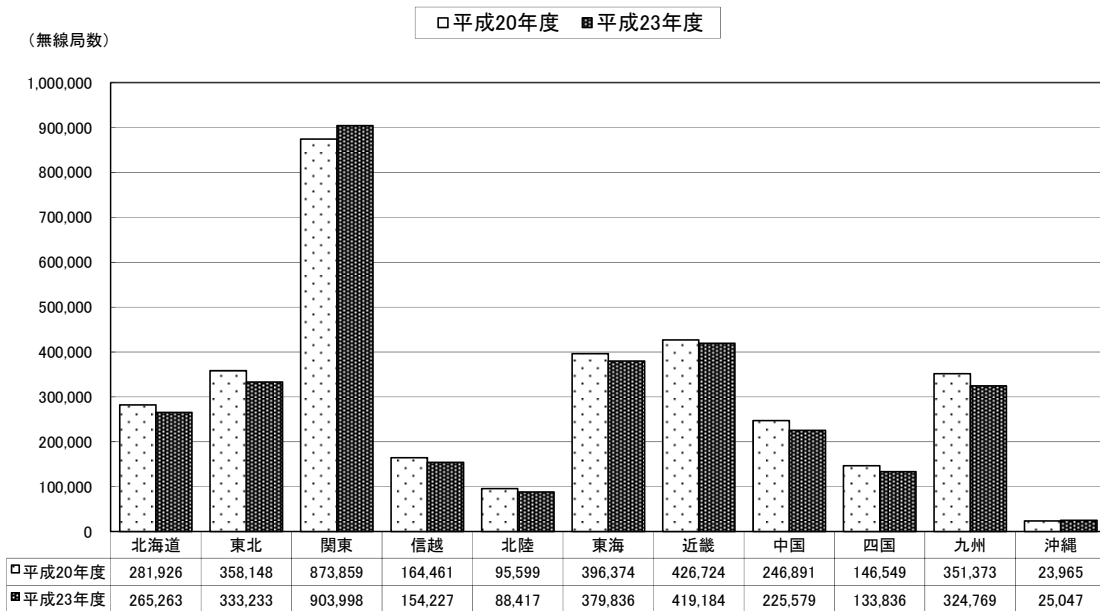
*1 [-]と表示されている場合は、該当システムが存在しないことを示す。

*2 0.05%未満については、0.0%と表示している。

*3 複数の電波利用システムグループに属する無線局は、それぞれにカウントしている。

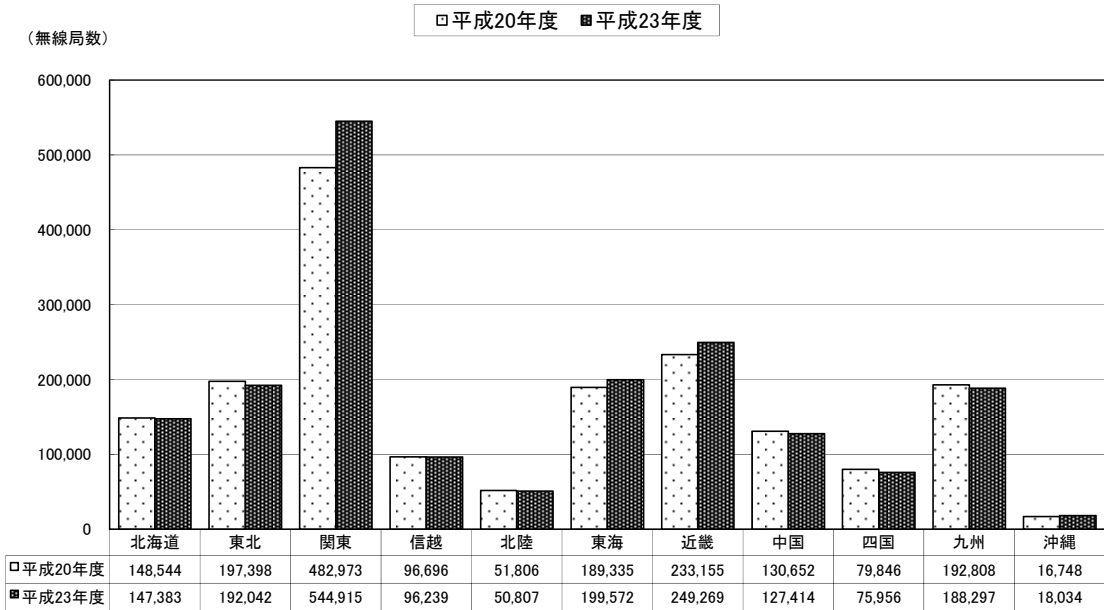
*4 複数の周波数を具備する無線局は、周波数区分毎にカウントしている。

図表－１－１－４ 770MHz 以下の無線局数の推移（各総合通信局等の比較）



* 複数の周波数区分を利用している無線局は、当該複数分をカウントしているため、実際の無線局数より多い。

図表－１－１－５ 770MHz 以下の無線局数の推移（各総合通信局等の比較・アマチュア局を除く）



* 複数の周波数区分を利用している無線局は、当該複数分をカウントしているため、実際の無線局数より多い。

図表－１－１－６ 単位人口・単位面積当たりの770MHz以下の無線局数の割合（各総合通信局等の比較）

総合通信局別	無線局数		人口(万人)		1万人当たりの無線局数		面積(km ²)	1km ² 当たりの無線局数	
	平成20年度	平成23年度	平成20年度	平成23年度	平成20年度	平成23年度		平成20年度	平成23年度
全国	3,365,869	3,253,389	12,777.1	12,805.6	263.4	254.1	365,116	9.22	8.91
北海道	281,926	265,263	557.0	550.8	506.2	481.6	83,457	3.38	3.18
東北	358,148	333,233	950.4	933.5	376.8	357.0	63,857	5.61	5.22
関東	873,859	903,998	4,270.2	4,347.0	204.6	208.0	36,436	23.98	24.81
信越	164,461	154,227	458.5	452.8	358.7	340.6	23,469	7.01	6.57
北陸	95,599	88,417	309.2	307.0	309.2	288.0	10,421	9.17	8.48
東海	396,374	379,836	1,514.1	1,510.9	261.8	251.4	27,901	14.21	13.61
近畿	426,724	419,184	2,086.1	2,090.0	204.6	200.6	27,092	15.75	15.47
中国	246,891	225,579	763.1	756.2	323.5	298.3	31,818	7.76	7.09
四国	146,549	133,836	404.0	397.7	362.7	336.5	18,792	7.80	7.12
九州	351,373	324,769	1,327.2	1,320.4	264.7	246.0	39,597	8.87	8.20
沖縄	23,965	25,047	137.3	139.3	174.5	179.9	2,276	10.53	11.00

複数の周波数区分を利用している無線局は、当該周波数分をカウントしているため、実際の無線局数より多い。

人口は平成19年10月1日現在、平成22年10月1日現在。面積は平成22年10月1日現在。

各地方局の面積には、管区にまたがる境界未定地域(12,834km²)を含んでいない。

資料：総務省統計局「第61回 日本統計年鑑 平成24年」、国土交通省国土地理院「平成22年 全国都道府県市区町村別面積調」